

品名	酸 化 工 チ レ ン	国連番号	1 0 4 0
----	-------------	------	---------

**該 当 法 規 ・ 危 険 有 害 性**

消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法		火 薬 類 取 締 法			道 路 法	
種 別						品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 石 油 ガ ス	火 薬	爆 薬	火 工 品	施 行 令 第 1 9 条 の 1 2、1 3 に 該 当
第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類										

特 性	危 険 性			有 害 性				環 境 汚 染 性		性 状			
	禁水性	爆発性	可燃性	有 害 ガ ス 発 生			目・皮膚に触れると危険	河川への流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性	
				常 温	加 熱 時 火 災 時	水 に 接 触							

**事 故 発 生 時 の 応 急 措 置**

車を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害のないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)

事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。

火気厳禁。エンジンの熱や火花は着火源になる。

容器を覆っているシート等を取り除き、ガスを大気に放出・拡散させる。

保護具を着用し、風上より消火、漏れ止め、回収、容器冷却、容器移動等の災害拡大防止措置を行う。

下記事項を荷主会社、運送会社、地域防災組織等の関係機関へも連絡する。

**緊 急 通 報**

1 1 9 ( 消 防 署 )                      1 1 0 ( 警 察 署 )                      高 速 道 路 の 非 常 電 話

[ 緊 急 通 報 例 ]

いつ                                      時                      分頃

どこで                                      市 地区 ( 国、県、市 ) 道                      号線                      付近で

なにが                                      「酸化工チレン、(高圧ガス、劇物)」が

どうした                                      漏れています。漏れて火災になっています。

ケガ人は                                      ケガ人がいます ( 救急車をお願いします )。ケガ人はいません。

私の名前は                                      運送会社                                      です。

**緊 急 連 絡**

( 特 に、休 日 ・ 夜 間 に 確 実 に 連 絡 が と れ る 部 署 の 電 話 番 号 を 記 入 す る )

荷主会社	
住 所	
電 話	平日 昼間 休日 夜間

運送会社	
住 所	
電 話	平日 昼間 休日 夜間

品名	酸化エチレン	国連番号	1040
災害拡大防止措置			
特記事項	処理剤		
<p>空気や酸素が存在しなくても分解爆発を起こすことがある。</p> <p>濃厚な液体が皮膚に触れると水泡ができる。また、凍傷を起こす。</p> <p>目に入った場合、角膜炎を起こすことがあり、吸入すると目、皮膚、粘膜を刺激する。</p> <p>容器内圧力                   : 20   で0.04 MPa (0.4 kg/cm<sup>2</sup>) [ゲージ圧力]</p> <p>                                  40   で0.17 MPa (1.7 kg/cm<sup>2</sup>) [ゲージ圧力]</p> <p>爆発範囲                    : 3.0 ~ 100% (空气中)</p> <p>許容濃度                    : 1 ppm</p> <p>相対密度 (ガス比重)       : 1.49 (空気を1とする。空気より重い。)</p> <p>液密度                       : 0.88 kg/L (at 15 )</p> <p>色・臭い                    : 無色・快香臭 (エーテル臭)</p> <p>容器外面の塗色            : ねずみ色</p>			
<p><b>漏えいしたとき</b></p> <p>有毒・爆発性ガス (酸化エチレン) が発生するので、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、保護衣、防毒マスク又は空気呼吸器を着用して、風上で作業する。</p> <p>漏えい箇所を濡れた布等で覆い、ガス状の酸化エチレンに対しては遠くから霧状の多量の水をかけ希釈する。</p> <p>排水する時は、土砂等で拡大防止を図り、多量の水で洗い流す、ただし、直接河川、用水路には流さない。</p>			
<p><b>周辺火災のとき</b></p> <p>容器を安全な場所へ移動する。</p> <p>移動することが不可能な場合は、容器及び周囲に散水する。</p>			
<p><b>発火したとき</b></p> <p>可能であれば、漏えいを止める。</p> <p>爆発性混合気を作らないよう、漏えい部が閉塞するまで火災を消さない。その後、小規模火災には、粉末消火器、炭酸ガス消火器を用いて消火する。大規模火災には、水噴霧、水で消火する。</p> <p>可能であれば、容器の加熱を防ぐために容器を安全な場所に移す。</p> <p>周辺及び漏えい状況から判断して、消火するとかえって危険性が増すと考えられるとき等は、火災の拡大・類焼を防止するため、周囲に噴霧散水しながら、容器内の酸化エチレンがなくなるまで燃焼させる。</p>			
<p><b>救急措置</b></p> <p>皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、多量の水で十分に洗い流す。</p> <p>吸収した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に保ち、呼吸困難な場合や停止している場合は、人工呼吸を行う。</p> <p>目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。</p> <p>患者が発生した場合は、もよりの医者へ運ぶ。</p>			